

編集後記

三重大学留学（18％）生センター紀要第7号をお届けいたします。

今年度は、旧国立大学が一斉に独立大学法人化した初年度にあたります。前年度来、これまでになく大きな枠組みを視野に入れながら、取組をすすめる必要に迫られた年でもありました。すでに事務部門は、国際交流課として編成替えを済ませスタートしておりますが、留学生センターの方は、国際交流センターへの移行に向けて、基本となる構想を模索し、慎重に検討を重ねつつあります。ようやく来年度には、新組織として動き始めることでしょうか。具体的な実践が根つき、全体像がしっかり掴めるようになるまでには、今少し時間を要するかと感じられますが、少なくとも目先にとらわれた仕事に振り回されるのではなく、ひとつ一つの取組に将来を見据えて関わってゆきたいと願っている次第です。

日ごろ留学生を指導し送り出していく中で、巣立っていった学生がさまざまな分野で活躍している様子を知ることは、大きな喜びです。先ごろの年賀メールでは、もと交換留学生の一人から、近県の国際交流員（CIR）となって再来日し、日本の女性と結婚して、昨秋4千グラムを超える男の子が生まれたというニュースが届きました。さらに文面通りの元気そうな赤ちゃんを囲んだ家族の写真が添付されていました。

今回の紀要第7号には、研究論文6本、実践報告3本、書評1本、合計10本の論文が収められることとなりました。投稿の応募は、12本いただいておりましたが、やむを得ぬ事情でお二方が提出を断念されました。来年度は、新しく衣替えした組織での投稿募集になるかと存じます。引きつづき、ご期待にこたえられるよう努めてまいりますので、わがセンターの‘脱皮’をあたたかく見守っていただければ願うばかりです。

末筆ながら、紀要第7号の編集にあたり、ご協力いただきました皆様方に心より御礼申し上げますとともに、今後のますますのご活躍を祈念しております。

（森 由 紀）

三重大学留学生センター紀要 第7号

2005年3月18日 印刷

2005年3月25日 発行

編集委員：森 由 紀（委員長）

花 見 檣 子

別 府 直 苗

発行者 三重大学留学生センター
〒514-8507 三重県津市上浜町1515

印刷所 伊藤印刷株式会社
〒514-0027 三重県津市大門32-13
TEL 059 (226) 2545 FAX 059 (223) 2862